

医療科学の研究人材養成を 取り巻く環境と課題

このプロジェクトの目的

日本における人口の超高齢化の進行と人口構造の変化、社会保障財源の制約が強まる中で、医療科学の必要性はますます高まっている。

海外では、純粋医学研究とは異なる、広義の医療資源の配分やサービスの質、アクセスなどに主眼を置く、医療研究や医療サービス研究分野の人材養成が進んでいる。しかし、我が国のこの領域を担う人材育成の状況を見ると、多くの課題に直面している。

医学系の学部における社会医学の教員ポストは減少傾向にあり、現在そのポストについている者にも遺伝子解析や生化学、臨床医学を基盤とする研究者が増えてきており、医療科学の担い手は減ってきている感がある。

経済学や社会学において、海外では医療経済学や医療社会学は大きな領域となっているが、日本ではいまだにメジャーな分野に育っていないとはいきたい。

一方で、公衆衛生大学院の増加や社会医学系専門医制度の議論、科学的根拠に基づく政策立案の推進など、変化が見られているが、以上のような状況の中で十分な指導者が確保できているのかどうかの検証がなされていないのが現状である。

本自主研究プロジェクトの目的は、①日本における医療科学の研究人材養成の現状を把握し、②人材養成の課題とその背景要因を明らかにし、③人材養成を推進するためのアクションプランを練り上げ、④我が国として、大学やその他の研究機関がどのような取り組みを行うべきかについてまとめることにある。

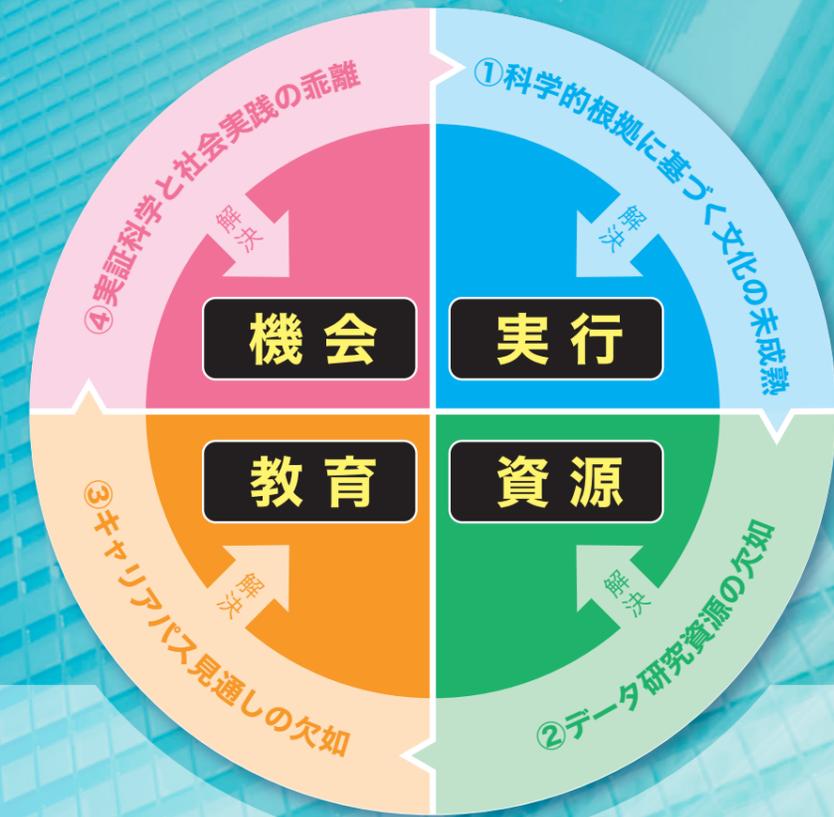
研究を終えて

多面的なデータの整備、基礎研究と応用研究の双方のバランス、研究と実践現場と政策の連携の場の創出など、ここで得た結論は、今回のプロジェクトでは取り上げられなかった社会学や看護学など、学際的な医療科学を構成する他の学問分野、職種などにも適用可能な提言である。

この提言を踏まえて、大学やその他研究機関において、本プロジェクトで明らかになった様々な課題の解決に向けての取り組みが進むことが期待される。

医療科学研究所では、医療の発展への寄与を目的に、当研究所の役員等が中心となった研究者集団により、医療に関する今日的課題、将来予測など未解決テーマに対し先駆的な研究を実施する自主研究事業を行っています。その活動内容はホームページからご覧いただけます。

www.iken.org/project/



2016・2017年度の調査の結果、
社会医学・医療経済学の人材養成に共通する課題として、
互いに関連し、悪循環する4つの課題を抽出し、
それぞれに対する解決策を考察した。

悪循環する4つの課題と、それぞれに対する解決策

2016年度と2017年度の調査研究を通して、
 社会医学と医療経済学の双方に共通する人材養成の課題が抽出できた。
 右の図は、その課題と解決の方向性を概念図として表したものである。

互いに関連し、悪循環する4つの課題

右の概念図の外周部分に課題を示した。
 課題は4つに分けられ、互いに関連し循環している。

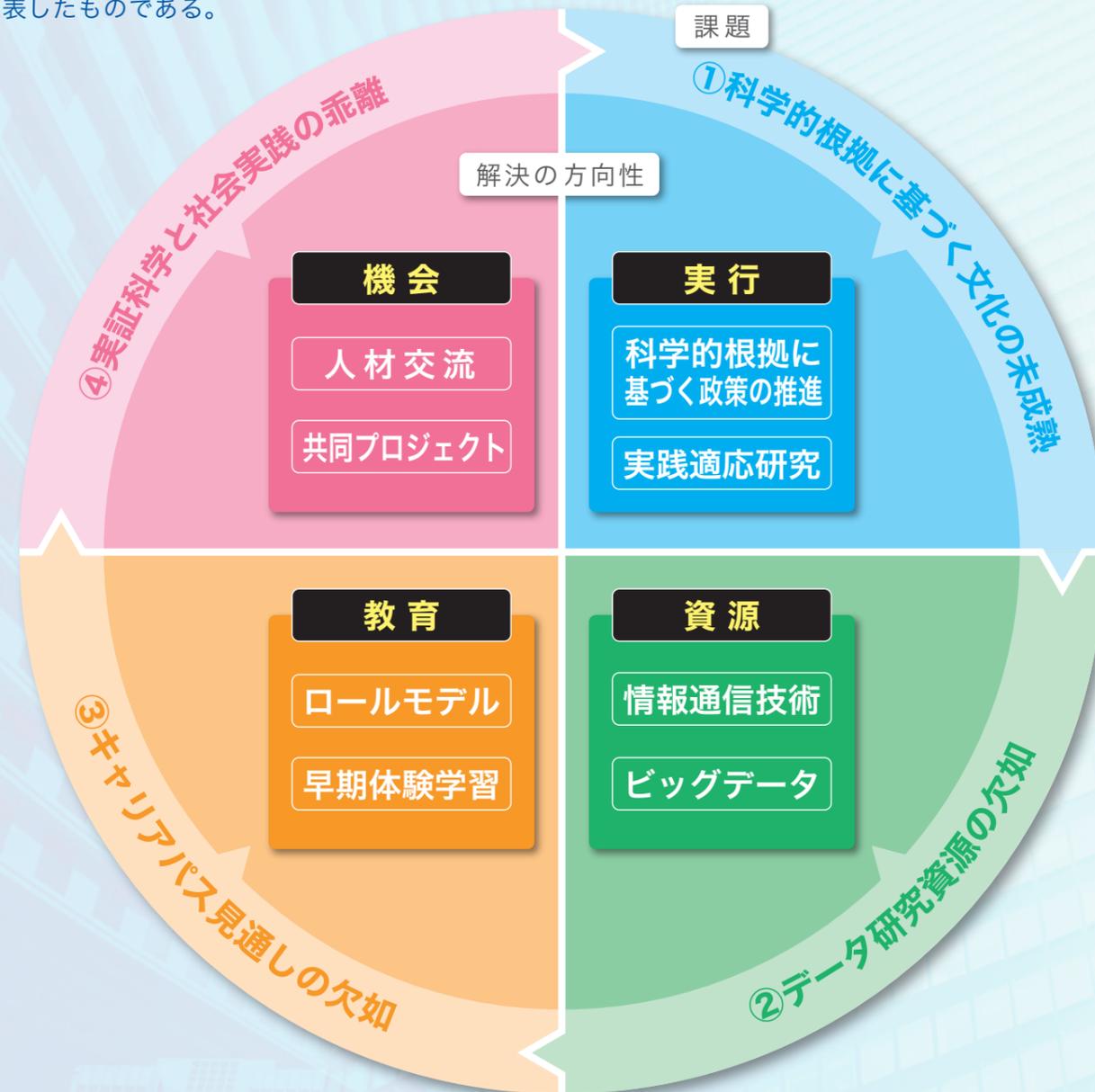
①「科学的根拠に基づく文化の未成熟」は、データに基づいて決定されるべき政策が、関係者の利害調整によって決定される現状を招いている。

そして、そうしたデータに基づく文化の未成熟は、②「データ研究資源の欠如」をもたらしている。

さらに、データ研究資源はなかなか整備されないために研究人材が育たず、その結果、研究人材が活躍できる場が限られてしまい、③「キャリアパス見通しの欠如」を招いている。

さらに、研究人材が活躍できる場が少ないため、社会実践の現場では研究人材を必要としていながら、実証科学とのあいだに橋渡しが行なわれず、④「実証科学と社会実践の乖離」という現状を招いている。

そして、社会実践の現場での課題解決に科学的根拠が生かされないため、①に戻り、「科学的根拠に基づく文化の未成熟」が助長されてしまう。



概念図 医療科学の研究人材養成を取り巻く環境と課題と解決の方向性

悪循環を断ち切る4つの解決策

4つの課題に対する解決策の方向性を、以下のとおり考察した。

課題① 科学的根拠に基づく文化の未成熟

解決策 → 実行

科学的根拠に基づく政策の推進、実践適応研究を「実行」することが求められる。

課題② データ研究資源の欠如

解決策 → 資源

情報通信技術、ビッグデータなどの研究「資源」の整備が必要である。

課題③ キャリアパス見通しの欠如

解決策 → 教育

ロールモデル、早期体験実習など、卒後の活躍の場を見通した「教育」の充実が必要である。

課題④ 実証科学と社会実践の乖離

解決策 → 機会

人事交流、共同プロジェクトなどを通じ、研究人材と実践現場の人材が領域横断的に交流する「機会」の創造が必要である。



研究成果の詳細は、医療科学研究所ホームページでご覧になれます。
www.iken.org/project/hr/